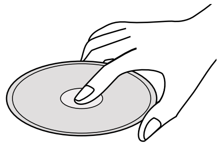
ディスクの取り扱いについて・お手入れのしかた

CD (コンパクトディスク)

のマークが付いているものをご使用ください。

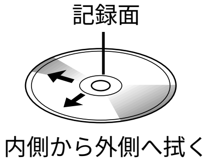
持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ちます。



CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



⚠ 注意

特殊形状のCDやCDアクセサリーは使用しない

禁　止

特殊形状（ハート型・八角形・カード型など）のCDやプロテクトフィルム・スタビライザーなどのCDアクセサリーを使用すると故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCDは使用しない

禁　止

本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RWは、使用しないでください。

著作権について

音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権利者の許諾を得ないでディスクに複製（録音）、配付、配信することは、著作権法で禁止されています。十分ご注意ください。

取り扱いのお願い

CDそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- 記録面に手を触れない
- CDが回転する方向に拭かない
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない
- CDを曲げない、キズを付けない
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない

CD-R/RWディスクのご使用について

CD-DA以外のデータ(MP3やWMAなど)は、再生できません。

- CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- クローズセッションされていないCD-R/RWディスクは再生できません。

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止を目的にコピーコントロールが施された音楽CDが発売されています。これは、現状CD規格に合致しないディスクであり、本機での再生は保証致しかねます。通常のCDを用いた再生には支障がなく、コピーコントロールCDを用いた再生にのみ支障がある場合は、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせください。

CDの保管について

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光のあたるところ（車のシート、ダッシュボードの上など）
- 暖房器具の熱が直接あたるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気にふれるところ
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところ

パネルのお手入れについて

パネルが汚れたときは

- 電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。

使用しない

パネルを脱着する

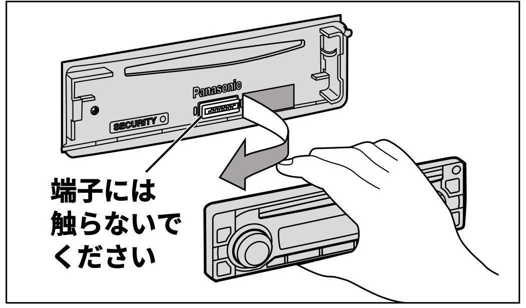
車から離れるときにパネルを取りはずすと、盗難を防ぐことができます。（デタッチャブルフェイス）

- **パネルを取りはずしたままでは電源が入らず、操作できません。**

取りはずしかた

❶ **本機の電源を切る**

❷ **（リリース）を押して、取りはずす**



取りはずしたパネルは

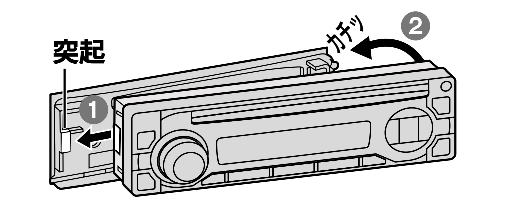
- 破損しないように乾いた柔らかい布で包むなどして保管してください。
- 衝撃を与える、落とすなどしないでください。
- 気温が上がるダッシュボードやその周辺に、置かないでください。
- 故障の原因になりますので、水をかけたり、湿気の多いところに置かないでください。（パネルは防水されていません。）

取り付けかた

❶ **パネルの左端を本体の突起部に差し込む**

❷ **パネルの右側をはめ込む**

- カチッと音がするまで押し込んでください。



お願い

- 本体とパネルの接点（端子）には触らないでください。電気的な接触不良を起こす原因になります。汚れやごみなどがついたときは、清潔な乾いた布で拭いてください。